

研修カリキュラム

年度	令和5年度
分野	保護者支援・子育て支援
実施機関	一般社団法人日本保育チームマネジメント協会

	研修名	講師名	内容	研修形態	時間	総時間数	開催日程	会場	定員
1	【1】保護者理解のための姿勢	上田 まどか	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て支援の目的とは ・バーチャル討議: 子育て支援の方向性として適切なものは? ・解答と解説: 保護者の要求に応じていくことが子育て支援ではない ○保護者をとりまく状況について理解する ・多くの保護者は疲れている ・子育ての質の向上をともに目指す ○他者を理解するとは? ・バーチャル討議: 保護者を理解するために望まれる姿勢とは? ・解答と解説: 受容的態度 ○保護者それぞれの事情について ・様々な立場の保護者がいる ・無条件の積極的関心 	講義演習	1.5時間		8月2日(水)～ 10月13日(金)	オンデマンド	50人
2	【2】保護者支援の役割と機能	上田 まどか	<ul style="list-style-type: none"> ○「指導」と「支援」の違い/支援のあるべき方向性 ・バーチャル討議: 「支援」について最も適切なものは? ・保育者は子育て「指導者」ではなく、保護者の「パートナー」 ○保育者に求められる倫理観 ・倫理観の欠如は保育者への信頼度低下を招く ○養育力低下の原因/保護者をとりまく子育て環境の変化 ・孤立感・育児不安感による影響 ・保育者との協働(共同)プロセスの蓄積 ○(保護者への)心の支援 ・保護者と子どもの愛着関係の構築 ・保護者の養育意欲の形成 	講義演習	1.5時間		8月2日(水)～ 10月13日(金)	オンデマンド	50人
3	【3】保育施設の特性と支援方法	上田 まどか	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て支援の位置付け/保育施設の特性 ・保育施設だからその特性を能動的に理解・意識して活用する ○具体的な保育施設の特性を理解する ・専門性を有する職員による保育(=人材)、施設設備、保育実践 ○保育施設に入所している子どもの保護者に対する支援 ・専門性による発達の見通しの可視化 ○具体的取り組みとそのねらいの再認識 ・日常的・変則的に行われる取り組みの両活用 	講義演習	1.5時間		8月2日(水)～ 10月13日(金)	オンデマンド	50人
4	【4】保護者への対応のあり方	上田 まどか	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者対応の目指すべき姿 ・バーチャル討議: 保護者の自己決定について適切な文章はどれか ・保護者と自己決定力 ○保護者対応のあり方 ・ハイスティックの7原則の詳細 ・共感しあうこと ○相談を受けた場合 ・バーチャル討議: 保護者との面談の心構えとして適切なものは? ・解答と解説 ・ソーシャルワーカーの手法について ・問題が相談の形で現れない場合 ○日常における対応 ・保護者との相互理解を目指す 	講義演習	1.5時間		8月2日(水)～ 10月13日(金)	オンデマンド	50人
5	【5】地域子育て支援の役割とは	上田 まどか	<ul style="list-style-type: none"> ○地域子育て支援が必要とされる背景 ・グループ討議: 地域子育て支援の役割を的確に説明しているのはどれ? ・子育て世帯の事情 ・地域子育て支援の役割 ○地域子育て支援の立ち位置 ・子育て支援と社会資源 ○地域子育て支援にできること ・バーチャル討議: 地域子育て支援の取り組み方として適切なものは? ・地域子育て支援 ○子の他の支援方法 	講義演習	1.5時間		8月2日(水)～ 10月13日(金)	オンデマンド	50人

6	【6】コミュニケーションの基本	上田 まどか	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーションとは ・バーチャル討議:コミュニケーションとは? ・解答と解説:コミュニケーションとは意思疎通のこと ○コミュニケーション能力を構築する4つの要素 ○聴くこと力 ・バーチャル討議:保護者の悩みへの寄り添い方 ・解答と解説:回答・解答ではなく応答的な態度 ・アクティブリスニングについて理解を深める ○読み解く力 ・読み解く力とは『相手に興味関心を待つ・観察する・情報をストックする』 	講義 演習	1.5時間	15時間	8月2日(水)～ 10月13日(金)	オンデマンド	50人
			<ul style="list-style-type: none"> ○伝えると伝わるの違い ・バーチャル討議:伝わるとは? ・解答と解説:「伝わるとは、自分との関わりによって相手が影響を受けて、自ら行動に移すこと」 ○情報のストック ・個々の言語/非言語コミュニケーション、行動パターンから、相手との会話でいつもと違う変化や、価値観のずれを感じ取れる ○面談の環境 ・バーチャル討議:あなたの園での面談は? ・解答と解説:内容を重視しすぎて環境まで考えられていない ○聞き手が留意すること 						
			<ul style="list-style-type: none"> ○「なぜ虐待がおこるのでしょうか」 ・バーチャル討議(保育者目線) ・バーチャル討議(保護者目線) ・解答と解説 ○マaltリートメントの理解 ・マaltリートメント(不適切なかかわり) ○事例検証 ・バーチャル討議:あなたならどのような対応を取りますか ・解答と解説 ○虐待を見逃さない ・心・体・行動の変化 ・記録・マニュアルの作成 ・社会資源の活用 						
			<ul style="list-style-type: none"> ○保育施設と関係機関との連携 ・グループ討議:関係機関と連携した子育て支援について適切なものは? ・解答と解説 ・問題の早期発見の重要性 ○関係機関についての詳細 ・子育ての手助けをしてくれる機関 ・子どもの教育に関する機関 ・障がいや発達に関する相談ができる機関 ○地域資源とは? ・概要 ・地域資源の分類 ・グループ討議:地域資源を活用した保育について ○次世代の育成のために ・保育施設も地域の一部である ・貧困家庭について ・諸問題の発生の予防につなげる ・子どもを大切にす価値観を育む 						
			<ul style="list-style-type: none"> ○子育て支援のこれから ・保育者が持つべき心構えとして 「保育者に求められている姿勢」「日常保育の重要性」「保護者対応」の3つの視点から深めていきます ・現状から見える子育て支援の未来についてグループ討議を交えた意見交換会 ・何が正しいかではなく、何をすべきかを建設的に考えられるようにする 						
9	【9】関係機関との連携・地域資源の活用	上田 まどか	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て支援のこれから ・保育者が持つべき心構えとして 「保育者に求められている姿勢」「日常保育の重要性」「保護者対応」の3つの視点から深めていきます ・現状から見える子育て支援の未来についてグループ討議を交えた意見交換会 ・何が正しいかではなく、何をすべきかを建設的に考えられるようにする 	講義 演習 グループ討議	1.5時間		10月20日(金) 13:30～15:00	リモート研修(ZOOM)	50人
10	【10】保育施設の取り組みの事例	上田 まどか	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て支援のこれから ・保育者が持つべき心構えとして 「保育者に求められている姿勢」「日常保育の重要性」「保護者対応」の3つの視点から深めていきます ・現状から見える子育て支援の未来についてグループ討議を交えた意見交換会 ・何が正しいかではなく、何をすべきかを建設的に考えられるようにする 	講義 演習 グループ討議	1.5時間		10月20日(金) 15:00～16:30	リモート研修(ZOOM)	50人

※ 保育士等キャリアアップ研修の修了証の交付を受けるためには、1～10すべての研修を受講する必要があります。